

「公共建築月間」企画

入場無料

いわて公共建築フォーラム2007

「もっと身近に公共建築」

11月22日(木) 13:20~16:30

会場：いわて県民情報交流センター
7階 アイナホール

■プログラム 13:20開演

第一部 13:30~14:40

講演「魅力ある公共建築 ~作品を通して~」

講師：香山壽夫(建築家)

第二部 15:00~15:30

「わがまちの誇れる公共建築」紹介

第三部 15:30~16:30

発表「公共建築への想い」

高橋敏彦、小川茂樹、角田直樹

■公共建築作品展(同時開催)

- ・「公共建築」をテーマとした建築作品展
- ・「わがまちの誇れる公共建築」写真展示

開催趣旨

公共建築は、地域の方々の生活に密接に関わり、地域の活性化、生活・文化水準の向上、街並み形成等重要な役割を果たしています。

今後、地域との連携を図りながら、もっと身近な公共建築を目指していく必要があると考えます。

11月の「公共建築月間」(平成15年5月に創設)の企画として、地域の方々と共に公共建築について考えていく場として、いわて公共建築フォーラムを開催します。

講師・発表者紹介

■講師：香山 壽夫 (こうやま ひさお)



プロフィール

1937年 東京に生まれる
 1960年 東京大学工学部建築学科卒業
 1965年 ペンシルヴェニア大学美術学部
 大学院修士課程修了
 1968年 九州芸術工科大学助教授
 1971年 東京大学助教授
 1986年 東京大学教授。工学博士
 1997年 東京大学名誉教授
 明治大学理工学部教授
 1999年 ペンシルヴェニア大学客員教授
 2002年 放送大学教授

作品

九州芸術工科大学、千ヶ滝の山荘、東京YWCA会館、曾我・平澤記念館、関川村歴史資料館、彩の国さいたま芸術劇場、聖アンデレ教会礼拝堂、東京大学工学部一号館改修、長久手町文化の家、瀬高町率図書館、東京大学弥生講堂、聖籠中学校、可児市文化創造センターala、野々市町庁舎、二松学舎大学、天使の聖母トラスチヌ修道院、旅人の聖堂、聖学院大学礼拝堂・講堂など。

著書

「荒野と開拓者」「都市を造る住居」「イタリアの初期キリスト教聖堂[共著]」(丸善)。
 「建築家のドローイング」「建築意匠講義」(東京大学出版会)。「建築家の仕事とはどういうものか」「ルイス・カーンとはだれか」(王国社)。
 「都市計画論」「都市デザイン論」「建築意匠論」(放送大学教育振興会)など。

■高橋 敏彦



北上市
榊高橋設計

■小川 茂樹



盛岡市
榊久慈設計

■角田 直樹



遠野市
榊カクタ設計

主催：岩手県／(社)岩手県公共建築設計監理協会

後援：国土交通省東北地方整備局／(社)岩手県建築士会／(社)岩手県建築設計事務所協会／
(社)日本建築家協会東北支部

お問い合わせ：(社)岩手県公共建築設計監理協会 TEL. 019-623-3681